

ふたつの柱

—江戸絵画／現代美術をめぐる

2016年6月1日[水]－6月26日[日]

※出品番号と展示順が異なる場合があります。

※都合により出品作品は一部変更となる場合があります。

※所蔵先のうち、特記なき場合全て千葉市美術館の所蔵品です。

また、サトウ画廊コレクション、今中コレクション、ラヴィッツコレクションも千葉市美術館の所蔵品です。

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

No.	作家名	作品名	制作年	技法等	所蔵先
息づくかたち					
1	諏訪直樹	無限連鎖する絵画 PART3 (No. 32-50)	1990年	アクリル・岩彩、カンヴァス	
2	中西夏之	作品一たとえば波打ち際にて IX	1985年	油彩、カンヴァス	
3	中西夏之	中央の遠い白 VIII	1990年	油彩、カンヴァス	
親密な絵画たち					
4	オノサト トシノブ	CIRCLE	不詳	シルクスクリーン、紙	サトウ画廊コレクション
5	吉村益信	Cut Sea A	1973年	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	サトウ画廊コレクション
6	藤松博	羽ばたき	1956年	油彩、カンヴァス	サトウ画廊コレクション
7	岡本信治郎	虫世界	不詳	シルクスクリーン、紙	サトウ画廊コレクション
8	松本英一郎	退屈な風景	1971年	油彩、カンヴァス	サトウ画廊コレクション
9	馬場彬	作品 (カレンダーのための)	1984年	鉛筆・インク・プラスチック板、紙	サトウ画廊コレクション
10	岩中徳次郎	Work 83	1983年	油彩、カンヴァス	サトウ画廊コレクション
11	中村宏	サムライ	1963年	油彩、カンヴァス	サトウ画廊コレクション
12	タイガー立石	封函虎	1989年	油彩、カンヴァス	サトウ画廊コレクション
13	江川和彦	貼り絵	1961年	コラージュ、紙	サトウ画廊コレクション
14-46		『摺物帖』(鶴酒屋序文栗三収集)		一帖 (摺物八十図貼付のうち)	
14	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 いたや貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
15	柳々居辰斎	梅枝に矢立と手鏡入れ	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
16	柳々居辰斎	鯛	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
17	勝川春亭	昔噺智仁勇 桃太郎	文政3年(1820)	色紙判摺物	
18	西川千春	天稚みこ物語 くちはなの巻	文政4年(1821)	色紙判摺物	
19	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 あし貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
20	柳々居辰斎	月梅図	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
21	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 すだれ貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
22	柳々居辰斎	五色之内 神燈 白蛇	文政4年(1821)	色紙判摺物	
23	魚屋北溪	唐子と蛇	文政4年(1821)	色紙判摺物	
24	等斎	蛇を追う舞楽	文政4年(1821)	色紙判摺物	
25	柳々居辰斎	魚貝図	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
26	歌川豊広	飾り額 福	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
27	岳亭春信	書斎文房図	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
28	魚屋北溪	蒙求廣利	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
29	窪俊満	霞連草木合 牡丹・燕子花	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
30	柳々居辰斎	南部椀	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
31	魚屋北溪	七代市川團十郎の暫の衣裳	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
32	柳々居辰斎	柳に梅	文政4年(1821)頃	小判摺物	
33	古今亭三馬	狂歌摺物	文政4年(1821)頃	小判摺物	
34	勝川春亭	雛屏風を見る遊女	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
35	葛飾北斎	栲垣連五番之内和漢画兄弟 趙雲と武内宿禰	文政4年(1821)	色紙判摺物	
36	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 梅のはな貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
37	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 なみまかしハ	文政4年(1821)	色紙判摺物	
38	葛飾北斎	栲垣連五番之内和漢画兄弟 司馬温公と柴田勝家	文政4年(1821)	色紙判摺物	

No.	作家名	作品名	制作年	技法等	所蔵先
39	魚屋北溪	遠眼鏡 江の島富士	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
40	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 ほら貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
41	柳々居辰斎	隅田川図	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
42	柳川重政	花扇	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
43	柳々居辰斎	絵巻物とサンゴ	文政4年(1821)頃	色紙判摺物	
44	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 きぬた貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
45	葛飾北斎	元禄歌仙貝合 ものあら貝	文政4年(1821)	色紙判摺物	
46	葛飾北斎	昔噺智仁勇 猿	文政3年(1820)	色紙判摺物	

季節を楽しむ

47	高嵩谷	渡舟雨宿り図屏風	江戸時代中期	紙本着色 六曲一双	
48	西川祐信	四季風俗図巻	享保(1716-36)頃	紙本着色 一巻	
49	勝川春潮	日本堤遊歩	天明(1781-89)後期	大判錦絵三枚続	
50	溪斎英泉	初夏の雨	文政(1818-30)前期	大判錦絵三枚続	
51	鳥居清長	美南見十二候 六月	天明4年(1784)頃	大判錦絵二枚続	
52	歌川豊国	初代中山富三郎の濡髪小しづか・初代尾上松助の濡髪長五郎・三代目市川高麗蔵の放駒長吉	寛政9年(1797)	大判錦絵三枚続	
53	栄松斎長喜	蚊帳二美人	寛政11~13年(1799-1801)頃	大判錦絵	
54	歌川国芳	美立道成寺	嘉永(1848-54)期	団扇絵判錦絵	
55	歌川豊国(三代)	弥生雛次郎	万延元年(1860)頃	錦絵団扇 一本	
56	呉春	漁樵問答図	天明(1781-89)期	絹本着色 六曲一双	
57	山本光一	檜に白鷺図	19世紀	絹本着色 一幅	
58	松村景文	鮎図	文政~天保(1818-44)期	絹本着色 一幅	
59	岡本秋暉	蓮池遊魚図	19世紀	紙本着色 一幅	摘水軒記念文化振興財団蔵(寄託)
60	河田小龍	草花図	19世紀	絹本着色 三幅	
61	渡辺華山	黄雀窺蜘蛛図	天保8年(1837)	絹本着色 一幅	嬉遊会コレクション(寄託)
62	福田半香	柳陰納涼図	弘化3年(1846)	絹本着色 一幅	嬉遊会コレクション(寄託)
63	鋏形蕙斎	草虫図	文化(1804-18)後期~文政7年(1824)頃	絹本着色 双幅	
64	北尾重政	『絵本よつととき』	安永4年(1775)刊	墨摺絵本 三巻合一冊	
65	喜多川歌麿	『画本虫撰』	天明8年(1788)刊	彩色摺絵入狂歌本 二冊	
66	岡山鳥(編著) 長谷川雪旦(画)	『江戸名所花暦』	明治26年(1893)刊 ※初版は天保8年(1788)	墨摺絵本 四冊のうち	ラヴィッツコレクション
67	鋏形蕙斎	『草花略画式』	文化10年(1813)刊	彩色摺絵本 一冊	ラヴィッツコレクション
68	水野忠敬(著) 大岡雲峰・関根雲停(画)	『草木錦葉集』	文政12年(1829)刊	墨摺画譜 七冊のうち	ラヴィッツコレクション
69	壺天堂主人(著) 森春溪(画)	『花壇朝顔通』 乾	文化15年(1832)刊	彩色摺画譜 一冊	ラヴィッツコレクション
70	歌川国貞	江戸自慢 仲の町灯笼	文政2~4年(1819-21)	大判錦絵	
71	歌川国貞	江戸自慢 両国夕涼	文政2~4年(1819-21)	大判錦絵	
72	歌川国貞	江戸自慢 四万六千日	文政2~4年(1819-21)	大判錦絵	
73	歌川国貞	江戸自慢 駒込富士参り	文政2~4年(1819-21)	大判錦絵	
74	溪斎英泉	御利生結ぶの縁日 芝赤羽根 水天宮	文政7年(1824)頃	大判錦絵	今中コレクション
75	溪斎英泉	御利生結ぶの縁日 両国薬研堀 不動尊	文政7年(1824)頃	大判錦絵	今中コレクション
76	溪斎英泉	当世名物鹿子 隅田堤のむしの音	天保(1830-44)期	大判錦絵	今中コレクション
77	溪斎英泉	当世名物鹿子 根岸の笹の雪	天保(1830-44)期	大判錦絵	今中コレクション

あそぶ江戸絵画

78	北尾重政 / 鳥文斎栄之	猿曳き図	寛政12年(1800)頃	長判摺物	
79	歌川豊国	七代目市川団十郎の楽屋	文政(1818-30)前期	色紙判摺物	
80	白兔	花鳥玉盤六枚之内 黄鳥	文政11年(1828)	色紙判摺物	
81	鈴木春信	見立孟宗	明和2年(1765)絵巻	中判錦絵	
82	歌川豊国	両画十二候 五月	享和元年(1801)	大判錦絵三枚続	
83	溪斎英泉	倣返魂香之図	文政(1818-30)初期	柱絵判錦絵掛軸装 一幅	今中コレクション
84	溪斎英泉	倣玄宗吹笛之図	文政(1818-30)前期	柱絵判錦絵掛軸装 一幅	今中コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	技法等	所蔵先
85	溪斎英泉	見立女三の宮図	天保(1830-44)期	絹本着色 一幅	
86	豊原国周・三代歌川広重	東海道一ト眼千両 藤沢 弁天小僧菊之助	慶応3年(1867)	大判錦絵	青木コレクション(寄託)
87	無款	風流祭礼図屏風	寛永(1624-44)頃	紙本着色 六曲一隻	
88	英一蝶	張果老・松鷲・柳烏図	宝永6年(1709)~享保(1716-36)初期	絹本着色 三幅	嬉遊会コレクション(寄託)
89	渡辺秀詮	虎図	江戸時代中期	紙本着色 一幅	
90	狩野惟信	獅子図	18世紀	絹本墨画 双幅	嬉遊会コレクション(寄託)
91	曾我蕭白	獅子虎図	宝暦(1751-64)頃	紙本墨画 二曲一双	
92	伊藤若冲	雷神図	宝暦~明和(1751-72)期頃	紙本墨画 一幅	
93	楸形蕙斎	遊女と侍図	文化(1804-18)後期頃	絹本着色 一幅	摘水軒記念文化振興財団蔵(寄託)
94	無款	『鳥羽絵三国志』	享保5年(1720)刊	墨摺絵本 三冊のうち	ラヴィッツコレクション
95	楸形蕙斎	『人物略画式』	寛政11年(1799)刊	彩色摺絵本 一冊	
96	中村芳中	『光琳画譜』	享和2年(1802)刊	彩色摺(一部手彩色)画譜二帖	ラヴィッツコレクション
97	耳鳥斎	『かつらかさね』	享和3年(1803)刊	墨摺絵本 一冊	ラヴィッツコレクション
98	歌川豊国	『三芝居役者声色 出たやうだ』	文化5年(1808)刊	彩色摺絵本 一帖	ラヴィッツコレクション
99	青々山人(著) 与謝蕪村(画)	『続俳家奇人談』	弘化3年(1846)刊 ※初版は天保3年(1832)	彩色摺絵本 二冊	ラヴィッツコレクション
100	歌川国芳	『国芳雑画』	安政3年(1856)刊	彩色摺絵本 一冊	ラヴィッツコレクション

モノクローム

101	中西夏之	不合流 I-a	1982年	油彩・木炭、カンヴァス	
102	中西夏之	不合流 I-b	1982年	油彩・木炭、カンヴァス	
103	桑山忠明	Silver	1974年	アクリル、カンヴァス	
104	桑山忠明	Gold & Silver	1974年	アクリル、カンヴァス	
105	桑山忠明	Gold	1974年	アクリル、カンヴァス	
106	俵屋宗達	許由巢父図	元和~寛永(1615-44)期	紙本墨画 双幅	
107	雲谷等益	山水図	元和~寛永(1615-44)期	紙本墨画淡彩 六曲一双	
108	伊藤若冲	寿老人・孔雀・菊図	宝暦(1751-64)末頃	紙本墨画 三幅	
109	中林竹洞	山水図襖	文化(1804-18)期末頃	紙本墨画 四面	
110	渡辺華山	歳寒二友図	天保9年(1838)	紙本墨画 一幅	嬉遊会コレクション(寄託)
111	河井徳久(題) 深津又一(板)	『新刊聖蹟図』	元禄4年(1691)刊	墨摺絵本 二冊のうち	ラヴィッツコレクション
112	清・汪之元(原画) 忍海(模)	『有山堂画譜』	宝暦12年(1762)刊	木版正面摺絵本 一帖	ラヴィッツコレクション
113	諸家	『賞春芳帖』	天明2年(1782)刊	木版正面摺絵本 一冊	ラヴィッツコレクション

はざまにあるもの—虚構と日常

114	トーマス・ルフ	星 18 h 20 m /-65°	1992年	タイプC プリント	
115	野村仁	ムーン・スコア: Does the Universe Turn to Construction?	1979年	ゼラチンシルバープリント	
116	トーマス・ルフ	室内	1982年	タイプC プリント	
117	トーマス・ルフ	室内	1981年	タイプC プリント	
118	トーマス・ルフ	室内	1980年	タイプC プリント	
119	勝川春潮	筋違橋	寛政(1789-1801)前期	大判錦絵三枚続	
120	溪斎英泉	蠶織図會	文政(1818-30)前期	大判錦絵三枚続	今中コレクション
121	歌川貞秀	東都両国ばし夏景色	安政6年(1859)	大判錦絵三枚続	
122	歌川貞秀	浪速天満祭	安政6年(1859)	大判錦絵三枚続	
123	岡本秋暉	百花一瓶図	19世紀	絹本着色 一幅	摘水軒記念文化振興財団蔵(寄託)
124	歌川国芳	八代目市川団十郎の死絵	嘉永7年(1854)8月	大判錦絵三枚続	
125	無款	八代目市川団十郎の死絵(大掛軸)	嘉永7年(1854)8月	大判錦絵	青木コレクション(寄託)
126	無款	八代目市川団十郎死絵(無常の風)	嘉永7年(1854)8月	大判錦絵	青木コレクション(寄託)
127	無款	八代目市川団十郎の死絵(涅槃図)	嘉永7年(1854)8月	大々横判錦絵	
128	歌川国芳	六の玉顔(八代目市川団十郎他死絵)	嘉永7年(1854)年9月	大判錦絵二枚続	
129	皓々舎梅唄(編) 柴田是真・落合芳幾(画)	『くまなき影』	慶応3年(1867)序	彩色摺絵本 一冊	

No.	作家名	作品名	制作年	技法等	所蔵先
風景					
130	山口勝弘	ヴィトリヌ：風景 1958	1958年	ガラス・合成樹脂絵具・蛍光灯・油彩	
131	ダン・グレアム	円形の入口のある三角柱(ヴァリエーションE)	1997年	ハーフミラー・ガラス・鏡・ステンレス	
132	リチャード・ロング	水石の輪	1996年	みかげ石	個人蔵(寄託)
133	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	天保2~4年(1831-33)頃	大判錦絵	
134	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	天保2~4年(1831-33)頃	大判錦絵	
135	魚屋北溪	諸国名所 越中立山	天保5~6年(1834-35)頃	横大短冊判錦絵	
136	葛飾北斎	『富嶽百景』	天保5~7年(1834-36)頃	墨摺絵本 三冊	
137	無款	水辺風俗図	元和・寛永(1615-43)期	紙本着色 六曲一隻	
138	松本山雪	瀟湘八景図	江戸初期	紙本墨画淡彩 六曲一双	
139	鶴沢探山	山水図	享保4年(1719)	紙本金地墨画 六曲一双	
140	円山応挙	富士三保図屏風	安永8年(1779)	紙本墨画淡彩 六曲一双	

作品とことばーひろがるイメージ

141	岡崎乾二郎	ずっと上の斜面に一つの光を発見し、大声で叫んだ。こんちわ、ここに来れてうれしいです。これから、ほんの少しまえにできたばかりの曲を弾きます。	1992年	アクリル、カンヴァス	
142	岡崎乾二郎	そのころよく見かけた植物が、山の頂きと斜面のどっちともつかないところにたまにはみつかるものです。すっすすっす、岩陰にある。	1992年	アクリル、カンヴァス	
143	岡崎乾二郎	木の根元に小さな動物がいて、蜜に夢になっていた旅人のいる大樹を齧りつつけている。大樹はやがて谷底に転げおち、旅人はあえなく生を終えることになっている。	1992年	アクリル、カンヴァス	
144	岡崎乾二郎	ようやくわかってきた。みんなもうそろっている。他の人たちは雪崩より上にとどまることができたということが、呼びかけてみてわかった。普通の人たちはそんな決定的な場面に出会うことはほとんどなく、もっと静かで小さな場面にだけ向かい合う。もちろん僕たちみんなも同じだよ。	1992年	アクリル、カンヴァス	
145	岡崎乾二郎	ブウンブウンとこの蜂は飛んでいて、それって手まわし琴の音にも似てるし、遠くからでも聞こえるから、どこにいたってどこにいるか、当てることができる。	1992年	アクリル、カンヴァス	
146	葛飾北斎	馬尽 駒鳥	文政5年(1822)	色紙判摺物	
147	葛飾北斎	馬尽 駒菖蒲	文政5年(1822)	色紙判摺物	
148	葛飾北斎	馬尽 絵馬	文政5年(1822)	色紙判摺物	
149	葛飾北斎	馬尽 駒下駄	文政5年(1822)	色紙判摺物	
150	葛飾北斎	馬尽 将棋駒	文政5年(1822)	色紙判摺物	
151	葛飾北斎	馬尽 初午詣	文政5年(1822)	色紙判摺物	
152	葛飾北斎	馬尽 轡町	文政5年(1822)	色紙判摺物	
153	葛飾北斎	馬尽 竹馬	文政5年(1822)	色紙判摺物	
154	伊藤若冲(画) 梅莊顯常(詩)	乗興舟	明和4年(1767)頃	木版正面摺 一巻	